学校番号	315

令和８年度　芸術科(美術)

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画や平面デザインの分野を中心として、基礎的な描写・色彩計画について学習することで具象形態や自然の配色の特徴を知り、主にアクリルガッシュによる表現力を養います。
・身近な作品やデザインから歴史的な作家や作品など多様な作品を鑑賞し、美的体験を豊かにします。自分とは異なる他者の表現や見方を「鑑賞」で共有し自身の感性を更に広げたり深めたりします。
・一年間の制作と鑑賞を通して「わたし」を表現主題とし、「わたし」と「あなた」を考えあえるように学びます。

2　学習の到達目標

⑴　美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
⑵　自己のイメージをもって創造力を働かせ、個性的・機能的な表現能力を向上させる。
⑶　美術に親しむ活動を通して、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術文化などを理解し、美術作品などの表現の工夫について想像力を働かせて価値や美意識を感じ取りその良さを創造的に味わっている。 創造的な美術の表現をするために必要な造形感覚や技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫し、計画的に表現している。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことを軸にして、目的や機能に合わせた良さや美しさを考えて、個性的・機能的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美術とは何か	【鑑賞】 オリエンテーション ・教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ ・自分の手をデッサン ・気になる作品について独自の解釈で批評・紹介文を書く	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b: 感じたことを他者へ伝えるための工夫をしている。また、対象を見つめて、形体や質感の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:鉛筆の特性を生かし、よく観察して細密に表現している。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシート 発言内容	制作中の様子 ワークシート
	色と絵具のことを知る	[デザイン][鑑賞] 色彩の基礎を知る ・色彩の基礎学習 ・絵の具の特性の学習 ・三原色絵の具による色づくり	a: :色彩や形態がもたらす効果について関心を持ち、それらを生かして構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b: 歴史や社会の中で育まれた色のイメージや効果を理解し、その良さを味わおうとしている。 c:アクリル絵の具の特性を理解し、表現方法を工夫して表現している。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシート	制作中の様子 ワークシート
	ポスターをデザインする	【デザイン】[鑑賞] ポスターデザインの面白みや多様な自己表現を学ぶ ・様々なグラフィックデザインの鑑賞 ・自分を表現するポスターデザインを考える ・イメージに合うフォント、色彩効果、構成を考え描くアクリルガッシュで美しく描く 相互鑑賞	a:テーマを元に人物＝自己を表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシート	制作中の様子 ワークシート

2学期	静物デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・鉛筆・木炭を使いガラスや木などの素材の違いを観察し、描写する	a:モチーフの形状・材質の違いをよく観察し、把握することを理解している。 ｂ:鉛筆あるいは木炭の黒色一色で明暗のトーンを自在に作り、細密に描写している。 ｃ：他者の描いた作品を鑑賞し、感じ取ったこと・学んだことを自らの絵に反映している。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシート	制作中の様子 ワークシート
	自画像を描く	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・寒色・暖色について学習 ・いずれかの色調に統一した着彩法を演習 ・自分の顔の特徴を観察	a:寒色あるいは暖色に統一された色調の中で明度や彩度のトーンを作ることを理解している。 b:各自の特徴や雰囲気に合った色調を選択し、計画的に表現技法を実践している。 c:自分の顔の特徴を観察し、よく捉えている。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシート	制作中の様子 ワークシート
3学期	迷い込んだわたし	【絵画・彫刻】[映像メディア表現]【鑑賞】 自分の姿が入ったコラージュ作品制作 ・様々な参考例や写真を鑑賞を通して、多様な世界観の広がるアイデアを考える ・教科書や雑誌からアイデアを元に様々な画像パーツを切り抜く ・切り抜いたパーツと自画像写真を構成し、部分的に描き足しを行い仕上げる	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b: 感じたことを他者へ伝えるための工夫をしている。また、対象を見つめて、形体や質感の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:鉛筆の特性を生かし、よく観察して細密に表現している。	製作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシー	制作中の様子 ワークシート

	石膏プリントで作ろう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 石膏プリント制作 ・版画の基礎学習 ・前回作ったコラージュをもとに石膏プリントの為の版制作（黒く表現したいところをニードルを使って点描や線描でプラ板を削る ・印刷（インクを詰め、石膏を流し固める）	a: 版画の特性や多様で独特な表現について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、その良さや美しさについて理解を深めている。 b：表現形式を生かして、濃淡、描画方法・構成について、創造的な表現の構想を練っている。 c：版画技法の特性を理解し、意図に応じて創意工夫をした表現をしている。	制作中の様子 作品	鑑賞中の様子 ワークシー	制作中の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度